

多摩清掃工場の発電余剰電力を活用した電力地産地消事業に係る
公募型プロポーザルの審査結果報告書

1. 多摩清掃工場の発電余剰電力を活用した電力地産地消事業に係る受託候補者審査委員会について

(1) 設置根拠

多摩ニュータウン環境組合多摩清掃工場発電電力活用に係る協定

(2) 設置目的

多摩清掃工場の発電余剰電力を活用した電力地産地消事業における売電及び買電に係る契約の相手方となる事業者をプロポーザル方式により選定するに当たり、企画提案に参加した事業者の提案内容について適正な審査を行う。

(3) 委員構成

委員長 多摩ニュータウン環境組合 施設課長

委員 多摩ニュータウン環境組合 計画担当課長

委員 多摩市 環境部 地球温暖化対策担当課長

委員 多摩市 環境部 ごみ対策課長

2. 審査日程等

日程	内容
令和3年11月1日	「多摩ニュータウン環境組合多摩清掃工場発電電力活用に係る協定書」締結
令和3年11月1日	【第1回審査委員会】 関係書類（ガイドライン、実施基準、実施要領、審査基準書）と今後の進め方について内容確認・審議を行う。
令和3年11月16日	【多摩市指名業者選定委員会】 本事業の受託候補者の選定を、公募型プロポーザル方式により行うことを報告。
令和3年11月18日	【第2回審査委員会】 関係書類（実施基準、実施要領、審査基準書）について決定する。
令和3年11月19日	【公募開始】 公式ホームページに掲載
令和3年12月3日	【質問回答】 6者より21の質問があり公式ホームページに回答を掲載。
令和3年12月8日	【参加受付締切】 7者より参加表明書の提出があり、受領した。

令和3年12月9日	【第3回審査委員会】 参加資格審査を行い、7者を受け付けた。
令和4年1月5日	【辞退届の提出】 1者より辞退の申し出があり、令和4年1月5日付けで辞退届の提出を受領した。
令和4年1月11日	【提案書締切】 提案書受付締切。辞退した1者を除いた6者から提案書の提出があり受領した。
令和4年1月14日	【第4回審査委員会】 事業者によるプレゼンテーション及びヒアリングを行い、提案書類について採点を行った。採点結果を集計し、受託候補者及び次席者を決定した。
令和4年1月18日	【多摩市指名業者選定委員会】 本事業の受託候補者及び次席者について報告。

3. 審査内容

(1) 概要

審査は、各事業者から提出された「提案書」と「価格提案書」に基づき、企画提案、提案の実現能力・体制、価格点等について審査を行った。審査員評価項目の審査員一人あたりの1者に対する配点は「事業実施者の信頼性：5点」「提案事業の信頼性・安定性：5点」「企画提案：10点（組合・市に対し各5点）」の計20点とした。なお、「提案事業の実績：20点」及び「提案価格：300点（売電分180点、買電分120点）」については、あらかじめ定めた基準により評価する方法とし、審査員評価項目と合わせ計400点満点で審査し、合計点が高い順にランク付けを行い最適受託候補者及び次席者を選定した。また、審査は社名を伏せて行った。

(2) 結果

順位	事業者	点数
1	事業者 A	393.0 / 400点
2	事業者 D	391.0 / 400点
3	事業者 F	389.0 / 400点
4	事業者 E	386.5 / 400点
5	事業者 C	358.0 / 400点
6	事業者 B	325.5 / 400点

…最適受託候補者として選定

…次席者として選定

最適受託候補者を A社：日立造船株式会社 とする。

(3) 選定理由

事業者 A を選定した主な理由は以下のとおりである。

- ・電力地産地消事業の実績を複数有しており、事業者の電力構成においてごみ焼却発電が多くを占めるため、JEPX（日本卸電力取引所）への依存度が低く事業が安定していること。
- ・自社内での需給管理や発電所停止などへのリスク管理体制が確立されており事業の信頼性・安定

性を有していること。

- ・地産地消に限らずゼロカーボン、再エネの多数の供給実績を有し、確実なゼロカーボン供給が見込めること。
- ・市の取組みを理解し、市域の脱炭素化への取組みの促進が期待できること。

4. 審査結果（詳細）

評価事項	評価内容	配点	事業者					
			A	B	C	D	E	F
事業実施者の信頼性	事業者の事業規模は適当か	20	20	10.5	7	19	19	20
提案事業の信頼性・安定性	電力地産地消事業の実施体制・運営体制、事業開始までのスケジュール調整は適切か	20	19	6	13	17	17	18
企画提案	組合に対し、エネルギー循環型社会や脱炭素社会実現に資する効果的な提案がなされているか	20	18	4.5	12	16	15	15
	多摩市に対し、エネルギー循環型社会や脱炭素社会実現に資する効果的な提案がなされているか	20	16	4.5	10	19	15.5	16
提案事業の実績	電力地産地消事業の過去実績	20	20	0	20	20	20	20
提案価格	電力売却に係る売電価格の経済的効果が高いか	180	180	180	180	180	180	180
	電力購入に係る買電価格が標準より経済的効果が高いか	120	120	120	116	120	120	120
合計		400	393	325.5	358	391	386.5	389